

# ほつかいどう NIE 通信

Newspaper in Education



発行 北海道NIE推進協議会

〒060-8711 札幌市中央区大通西3丁目6 北海道新聞社内 ☎ 011-210-5802 FAX 011-210-5826

小学生の頃、新聞の4コマ漫画とテレビ欄を読むことが大好きでした。「三つ子の魂百まで」とは言つたものです。今でも新聞は必ず最終面のテレビ欄から開いてしまいます。ぜひ小学校時代に、新聞から情報を得る楽しさを知りたいと思います。

日本新聞協会の「各別の日刊紙発行部数」によると、日本・アメリカ・イギリス・フランスなどで発行部数が年々減っています。しかし、中国・香港・インド・タイなどの国では発行部数が増えています。単純な比較はできません



札幌市立新川中央小学校長 中谷 広一

## 世界見る目養いたい

が、勢いのある国では情報源として、新聞が多く国に親しまれていることが推察できます。新聞の文字情報は何度も読み直したり、友達と読み合ったりす

が、勢いのある国では情報源として、新聞が多く国に親しまれていることが推察できます。新聞の文字情報は何度も読み直したり、友達と読み合ったりす

ることで、自分の文脈で語ることができたとき、自分的情報となり、知識となります。情報は自分と世の中

をつなぐ媒体であり、教室へ帰港した2010年

本新聞協会認定が33校と昨年より1校増加。道協議会の独自認定は10校と昨年と同じ数で、合計43校となる。総会には、道内小中高の実践指定校は本年度、日本新聞協会認定が33校と昨年より1校増加。道協議会の独自認定は10校と昨年と同じ数で、合計43校となる。総会には、道内小中高の

実践教諭ら50人が参加。来賓の道教育庁学校教育局高校教育課の赤間幸人主幹、札幌市教育委学校教育部指導室の工藤真嗣・指導担当係長らが、初開催の稚内・宗谷を含む全道10カ所で行われる。また、第2回夏休み親子新聞教室を8月1日に開くほか、10月には第16回北海道NIE研究大会を旭川セミナーを兼ねて開くこととした。

北海道NIE推進協議会(高辻清敏会長)の2011年度総会が5月14日、北海道新聞社で開かれた。新規指定を含む43校が新聞協会と道推進協議会の支援を受けて実践に取り組むほか、昨年度より1カ所多い全道10カ所でセミナーを開催、夏休み親子新聞教室を8月に開くことを決めた。(2面に関連記事)

## 総道推進協議会 8月に親子新聞教室

紹介され、出席した4校の担当者を代表して帯広市立帯広第四中の相澤紗香教諭が「自ら新聞を読み、発信する生徒を育てていきた」とあいさつした。また、札幌市立三角山小学校(金子賢)▽稚内市立稚内中(金子廣尚人)▽札幌市立大倉山小(閔根治彦)▽札幌市立三角山小(樽克博)▽札幌市立市立宮の森中(阿部晋也)▽白糠高(五十嵐猛)▽旭川市立大有小(千葉昌之)▽恵庭南高(藪内敬志)▽富良野綠峰高(小林洋介)▽小樽市立錢函中(高橋恒雄)▽帯広市立帯広第四中(相澤紗香)▽釧路市立釧路小(池田福重)▽三笠市立三笠小(柳谷直明)▽東京福祉大短大部札幌学習センター(清藤眞智子)



北海道NIE推進協議会(高辻清敏会長)の2011年度総会では、新規指定校も紹介され、出席した4校の担当者を代表して帯広市立帯広第四中の相澤紗香教諭が「自ら新聞を読み、発信する生徒を育てていきた」とあいさつした。また、札幌市立三角山小学校(金子賢)▽稚内市立稚内中(金子廣尚人)▽札幌市立大倉山小(閔根治彦)▽札幌市立三角山小(樽克博)▽札幌市立市立宮の森中(阿部晋也)▽白糠高(五十嵐猛)▽旭川市立大有小(千葉昌之)▽恵庭南高(藪内敬志)▽富良野綠峰高(小林洋介)▽小樽市立錢函中(高橋恒雄)▽帯広市立帯広第四中(相澤紗香)▽釧路市立釧路小(池田福重)▽三笠市立三笠小(柳谷直明)▽東京福祉大短大部札幌学習センター(清藤眞智子)

北海道新聞ホームページ「NIE」(www.doshin-nie.com/)でバックナンバーから閲覧できます

## セミナー 銚路からスタート

### 投稿の感想書き交流 鶴野小

### 株式投資を模擬体験 美原中

### コラム要約して理解 明輝高

現場の先生たちが新聞を活用した実践例などを話し合う、当推進協議会主催の本年度のNIEセミナーが6月10日、銚路を皮切りにスタートした。

会場の銚路市立鳥取小には市内や近郊の実践教諭、新聞販売店関係者ら60人が集まつた。まず日下部憲一コーディネーターが6年生を相手に生命をテーマに授業。妊娠中の女性が東日本大震災で津波に流されながらも懸命に耐え、母子とも危険な状態を脱したという記事を読んで新たな生命を守る親の

気持ちについて考えた。途中から保護者7人も加わり、自分たちの出産や子育てにも関連づけながら、生命の尊さについてグループで意見を交わした。

引き続き教諭3人が実践発表した。

銚路市立鶴野小の森口暢宏教諭は投稿欄を生かした実践法を公開。6年を対象に「クイック交流」として

パターン化した感想文の書き方を覚え、発表能力をつけていく様子を報告した。同市美原中の金子雅人教諭は3年生の公民で、一定額を運用する株式投資のミュレーションを行うこと

新聞活用の実践例を発表する銚路明輝高の安田教諭(右端)



で、生徒に企業への関心が芽生え、授業後も引き続き個人的興味を持ち調べていくケースが増えた事例など

銚路明輝高の安田耕一教諭は、新聞の一面コラムを紹介した。

北海道・東北アドバイザー会議

### 震災の影響も報告

7月25、26日に開かれるNIE全国大会青森大会の開催準備を兼ねた北海道・東北ブロックのNIEアドバイザー・事務局長会議が6月3日、青森市内の小学

校で開かれた(写真)。

道内のアドバイザーの高瀬敏樹・札幌旭丘高教諭ら、双方のアドバイザーや事務局長ら20人が出席。新聞協会の枝元一三・NIEコーディネーターの司会で各地の動きが報告された。

震災による被害で総会の開催も遅れがちな各県の実情や小学校が指定を辞退したケース(岩手)も報告された。枝元氏は生涯教育へのNIEの利用、教員による各地の自主研修組織の積極的な活用を呼びかけた。

会議に先立ち現地セミナーも開かれ会場校の公開授業や青森県NIE推進協議会会长の児玉忠・弘前大の動きが報告された。



ます書き写させ、それを要約させることで内容の理解に努めたり、投稿記事の分析やパターン化した論評の方法などで読解力と表現力をつけていくユニークな取り組みを披露した。

北海道・東北アドバイザー会議は、うち初めて開催される。うち初めて開催するのは稚内1カ所。

セミナーは本年度、銚路に続き函館、北見、江差、滝川、旭川、稚内、苦小牧、室蘭、帯広の計10カ所で来年3月までの予定で開催される。

### 札幌・三角山小

### 日直が記事発表

### 札幌北陵高

### 投稿通じて自信

#### 協議会総会で実践報告

5月14日に行われた当協議会の総会では、札幌市立三角山小の加藤理恵教諭と札幌北陵高の喜多理賀教諭が実践発表した。加藤教諭は、昨年担任し

道十勝新聞教育研究会の総会が4月23日、帯広市立総会が4月23日、帯広第四中で開かれた。昨年度の活動報告では、研究大会やNIEセミナー、各種コンクールの主

催・共催、研究紀要の発行などが報告された。23年度の活動計画では、道十勝新聞教育研究会が総会を開催、24年度の全国新聞教

会長(森田昌宏・十勝新聞研副会長)(前事務局長)

### 10月3日鹿追で大会

### 十勝新聞教育研究会が総会

### 十勝新聞教育研究会が総会

道十勝新聞教育研究会の総会が4月23日、帯広市立総会が4月23日、帯広第四中で開かれた。昨年度の活動報告では、研究大会を開催、24年度の全国新聞教

た6年のクラスの取り組みを紹介。日直としてその日の当番の児童に気になつた記事を発表させる活動を続けた結果、「児童が次第に自分の考え方を持つようになつた」と報告した。喜多教諭は、北海道新聞

「みらい君の広場」への投稿活動を通じ、書くことが苦手な生徒が少しづつ慣れ、徐々に文字数を増やして書けるようになり、作品が掲載されたことで本人が自信をつけていく様子を紹介した。

道十勝新聞教育研究会が総会が4月23日、帯広市立総会が4月23日、帯広第四中で開かれた。昨年度の活動報告では、研究大会を開催、24年度の全国新聞教

### 道NIE推進協2011年度役員

(6月25日現在)敬称略

顧問	高橋 敬一・道教委教育長 北原 敬文・札幌市教委教育長
同	高辻 清敏・名寄市立大、天使大非常勤講師 吉田 一昭・道教育庁学校教育局長
会長	金山 正彦・札幌市教委学校教育部長 坂田 恵三・道NIE研究会会长 (札幌市立新陵中校長)
副会長	舟越 洋二・道十勝新聞教育研究会会长 (鹿追町立鹿追小校長)
同	三好 則男・北海道新聞取締役経営企画室長 鳴志田公男・毎日新聞道支社報道部長 栗本 敬三・共同通信札幌支社長 箱崎 文嘉・室蘭民報札幌支社長
幹事	森田 昌宏・池田町立高島小教頭を副会長に、渡辺毅広・川西小教諭を事務局長とする新体制を承認した。 堀川 勉・道新NIE推進センター長 千葉 光宏・朝日新聞道支社報道センター長 新海 英孝・日本経済新聞札幌支社報道部長
監事	

# 震災から学ぶ思いやり

興味を持った記事を要約し、朝のホームルームで発表している苦小牧市立泉野小6年のクラスで、東日本大震災の記事から「思いやり」や「親切心」を学ぶ道徳の授業が行われた。ふだん新聞に接することで問題を読み取り、きちんと意見発表できる力がついた様子が伝わってきた。

(大井一樹・北海道新聞NIE推進センター委員)

## 新聞作り 目的明確に

NIE学会がセミナー 横

学習指導要領が小学校で実施されたのに伴い、日本NIE学会（小原友行会長）は4月、横浜市で公開セミナーを開いた。「新しい教育課程と新聞活用」と題したシンポジウムで「新聞づくり」が話題になり、講師が「子どもにどんな力を付けたいのか、目的を明確に取り組むべきだ」とアドバイスした。



苦小牧・泉野小

せ新聞をつくろう」(同)「新聞を作ろう」(4年国語)「学級新聞を作ろう」(同)など数多く取りあげられた。パネルディスカッションの講師、文科省の水戸部修治・教科調査官(写真左)は社会科を例に、「歴史的事実を書く場合は報道記事のように日時や場所を明記することが重要。調べたことをまとめるとともに解説記事のようにする方法もある。付けたい力が何かを吟味して指導してほしい」と提案した。

い」(16日付「小牧民報」「3市で合同面接・相談会」(20日付同)「陸前高田市で診療市立病院医療チーム第

じたことをでき  
るだけ多くの児童  
に発表させた。

訪れたのは6月上旬。富岡賢晃教諭のクラス37人は、1年前から日直の児童2人ずつ毎朝、交代でスピーチさせている。家庭で新聞を

読み、内容をスクランブル帳に要約、感じたことを書いて発表する取り組みだ。これを踏まえ、富岡教諭は道徳の時間をあって、震災

2陣出発「愛と希望のラリ  
ー福原選手が故郷仙台訪  
問」(20日付道新)など。兒  
童は手を挙げて順に発表し  
た。

このうち、「おもししいもので助け合い」は岩手・大船渡のイタリア料理店のシェフと仲間が被災者に料理を毎日届けるという記事。「同じ記事を切り抜いた人は」。富岡教諭がたずねると、ほかの3人も次々に感じたことを発表した。

# 実践校 リポート

る」と同教諭。「前より新聞を読むようになつたといふ声はあつても、勉強時間が足りなくなるという保護者からの苦情はないですね」と話した。

考えてみてください」と質問。しばらくして児童から「節電や節水をしていく」「つくれた野菜をたくさん買って上げる」などの回答が返ってきた。

本直美・学力調査官Ⅱ同様、IIは「新聞を作る必要があるのか疑問に感じる授業もある」と、安易な新聞づくりに懸念を示した。新聞の1面を取り上げた理由については「まず紙面構成、読み方を知らせたかった」とし、「実生活で正しく新聞を読み解くためにも、制作前にトップ記事の性質や、意見表明は一般記事でなくコラムで行う、など学ぶ必要がある」と指摘した。

た「現場で読み解く新学習指導要領」の1回目で示した「指導要領を粉ミルクのようなもの」とする考え方を説明。協調性や課題解決能力をどう身に付けさせるかを考えるべきだとした。

北海道に求められる実践についてには若い教諭を育てる場やカリキュラムの整備、実践指定を受けてはいいが、新聞活用に努力している教師への支援や生涯学習への取り組み拡大も併せて提案した。

的に加え夢や感動、志を与える取り組み、社会貢献のような別の新たなNIEの道が生まれている、との見方を示した。

日本NIE学会の小原友行会長が5月14日、北海道新聞社で講演し、新学習指導要領に盛り込まれた新聞活用の狙いに触れ、「感動や社会貢献意識を育てる役割も期待される」として、地域に根ざした教材開発や生涯学習の拡大を提言した  
||写真||。

# 6年道徳 要約 発表 積極的に

## や感動与えて 小原教授が講演

小原教授が講演

現場で読み解く

## 新 学習指導要領

2



中央専門部学県議会国語教育審議会委員、日本NIE推進協議会常任理事、神奈川県NIE「ことく会」会長、1958年、静岡市生まれ。

横浜国立大教授  
高木まさき

新しい学習指導要領では、「思考力・判断力・表現力等」を育成するため、各教科における「言語活動の充実」が求められた。それを受けて国語科では「言語活動例」が示され、小中で4つ(小3・4年、小5・6年、中2・中3)の新聞活用が盛り込まれた。『解説』にまで目を向ければ、関連する記述(調べ学習における新聞活用など)は相当数に上る。

そこで、新聞活用の現状を把握すべく、大学院生とともに、北海道を含む10道府県の『NIE実践報告書』の実践(2004~2008)(学年別でみると、実施学年が明確なものとしては、8年度、総計1585件)をデータベース化し、分析



■ ■ ■

北海道:社会(同) 30・

38%、国語20・9%

【教科】全国:社会(地歴)



■ ■ ■

18・4%、高27・6% (学年別は全国と同様)



■ ■ ■

37・0%、高27・6% (学年別は全国と同様)



■ ■ ■

38%、国語20・9%



■ ■ ■

【教科】全国:社会(地歴)



■ ■ ■

10・5%)



■ ■ ■

北海道:小31・7%、中



■ ■ ■

37・0%、高27・6% (学年別は全国と同様)



■ ■ ■

38%、国語20・9%



■ ■ ■

【教科】全国:社会(地歴)



■ ■ ■

38%、国語20・9%



■ ■ ■

【教科】全国:社会(地歴)



■ ■ ■

38%、国語20・9%



■ ■ ■

【教科】全国:社会(地歴)



■ ■ ■

38%、国語20・9%



■ ■ ■

【教科】全国:社会(地歴)



■ ■ ■

38%、国語20・9%



■ ■ ■

【教科】全国:社会(地歴)



■ ■ ■

38%、国語20・9%



■ ■ ■

【教科】全国:社会(地歴)



■ ■ ■

38%、国語20・9%



■ ■ ■

【教科】全国:社会(地歴)



■ ■ ■

38%、国語20・9%



■ ■ ■

【教科】全国:社会(地歴)



■ ■ ■

38%、国語20・9%



■ ■ ■

【教科】全国:社会(地歴)



■ ■ ■

38%、国語20・9%

